

【内容】第1回“みんなで作る”五ヶ瀬川タイムライン検討会を開催	継続	1回目	【発信元】
タイムライン（事前防災行動計画）の策定			延岡河川国道事務所 調査第一課
取組目標	(2) (1) 2) (2)	タイムラインの策定	
	(2) (2) 1) (2)	タイムラインの策定	

【説明】 H28年10月17日に五ヶ瀬川水系に関連する関係機関にて、第1回“みんなで作る”五ヶ瀬川タイムライン検討会を開催した。



参加機関：30機関

コメント
今回のタイムライン検討会では、鬼怒川の決壊を受けて全国的に取り組んでいる、水防災意識社会再構築ビジョンの取組の一つであるタイムラインの概要やその目的、今後の予定について説明しました。参加した機関は30機関、参加者は50名以上となり、今後、それぞれの機関で持っている防災行動について協議を行い、タイムラインを策定していきます。



宮崎大学 村上教授

タイムラインとは

コメント
タイムラインとは、災害が発生することを前提として、「いつ」、「誰が」、「何をするか」に着目して、防災行動とその実施主体を時間軸に沿って整理していくことです。そのため、実際に被害をうけた平成17年14号台風の被害事例を示しながら当時の課題について説明しました。

次回、第2回検討会を開催予定

次回は、各機関を①避難WG、②交通・インフラWG、③要配慮者の難行動支援対策WGの3つに分け、WG（ワーキンググループ）毎に分かれて議論を深めます。すでに公表された浸水想定区域図をもとに被災シナリオにそって、①台風接近前、②台風接近時、③河川水位の上昇時、④破堤後、⑤水位低下時に想定される課題について話合います。



この検討会では、タイムラインの作成とともに、各関係機関がいざというときに「顔の見える関係」になれるよう、参加したくなる検討会としたい。